

(令和3年8月試験研究業務月報)

試験研究課題：LPWA を利用した集落における獣害対策の迅速化と低コスト化

研究

遠隔操作監視型の囲いワナにLPWA*1 を利用した シカ捕獲装置の開発

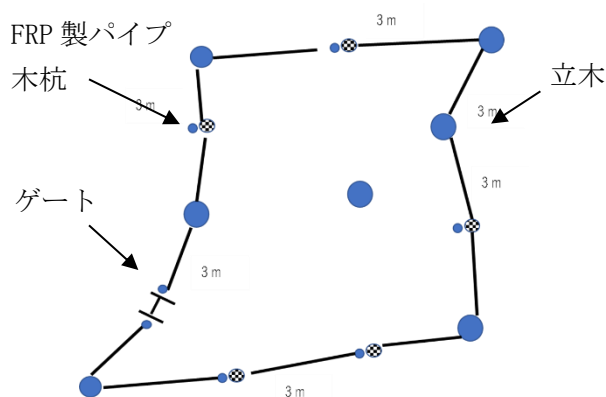
ニホンジカによる農林業被害を減少させるため、京都府では年間捕獲目標を設定し生息頭数の減少に努めています。

府内の森林においては、主にくくりワナや銃器による巻き狩りでシカが捕獲されており、一器で複数頭が捕獲できる囲いワナの使用は一般的ではありません。

そこで、当センターでは、森林内での設置を想定し、ワナ資材の軽量化や民間企業と連携して運用コストを抑えた遠隔操作監視型の囲いワナの開発に取り組んでいます。

秋からの捕獲を目指して実証場所にワナ資材の設置を始めています（シカ防除ネット、FRP製パイプ、単管パイプ、木杭や現場の立木等）。また、ワナに入った動物の確認と扉を閉じる遠隔操作に必要なLPWAを用いる装置開発も平行して進めています。

*1 LPWA:「低消費電力広域通信」LowPowerWideArea の略。通信距離が長く広いエリアを網羅可能な通信規格。通信速度は遅いが、運用コストは低い。



シカ防除ネットを立木とFRP製パイプで支える囲いワナのイメージ（平面図）



立木とFRPパイプ製を支柱にした囲いワナ（全周囲長39m、高さ3m、写真は一部）